

学 園 通 信



No. 273

九里学園高等学校 P T A

2018. 2. 28 発行



Congratulation
卒業おめでとう



自ら調べ、考え、話し合い、 判断し、行動できる人に!!

学校長 九里 廣志

今回の卒業生たちが入学した二〇一五年は、選挙権の年齢を二十歳以上から十八歳以上へと下げる公職選挙法が国会を通過（六月四日衆議院で可決、参議院に。十七日に参議院で可決成立）した年でした。そのようなことで、私は生徒たちには色んな場で、「参政権を行使する「主権者」として、何が必要なのか」を訴え続けてきました。特に生徒総会では、自らの生活する学校をどうやって素敵なものにするのか、しっかりと意見を述べ合って欲しい、それがこれからの主権者になるスタートなのだからと伝えてきました。生徒の皆さんたちは、どのように受け止めてくれたのでしょうか。

今、世界は、良くも悪くも大きく変わろうとしています。夢のあふれた素敵な未来と、不安一杯で生きにくい未来とが、混然とした状態で私たちの目の前に広がっています。このように混然とした世界をどちらの方向に導いて行くのかを、政治家に任せていけばいいというものではありません。まさにあなたたちの住む世界です。あなたたち一人ひとりが、自らの生きたい素敵な世界を作る主人公になって取り組むということが大きな課題なのです。自分たちの意見を、代表者である政治家たちにつかり伝えて、自分たちの望む社会を作るように政治家たちをコントロールするための選択行為が選挙です。国民のためにちゃんとした仕事ができな政治や、国民の代表としてふさわしくない政治家は選挙で排除することが必要なのです。今までの歴史で、「気がついたら望まない世界になっていた、そうしたのはその導いた政治家たちの責任だ。」と言って、他人にその責任を押し付けてしまうことが少なくありません。国民にとって誰が良い政治家なのかをしっかりと判断し、選挙で選んでいければ、その代表者によって国民の声が受け止められ、本当に民主的な政治が行われている社会になって、そのようなことにはならないはずだのに、なのです。

二〇二三年度の高校新入生から改定実施される「指導要領の改定案」が文部科学省から公表されました。大幅な改定です。基本は知識だけでなく思考力の育成を重視するという転換が行われます。自分には影響を与えないからというのではなく、どのような学びになろうとしているのかをしっかりと知って下さい。自分が受けてきた教育とどう違って、自分が学んできたことを足りないところは何かを知って下さい。また足りないところがあったらでは、なく、どのような学びになろうとしたいのかをしっかりと知って下さい。自分が受けてきた教育とどう違って、自分が学んできたことを足りないところは何かを知って下さい。また足りないところがあつたら自ら学んで身につけて下さい。その教育を受けたメンバールたちと一緒に、あなたたちの生活する未来の日本を、そして世界を語るのですから。

「住み良い、一杯の夢にあふれた世界になつたね!!」と語れる社会を作つて下さい。

「世界に発信する九里の教育」

副校長 笹原 裕一



今年の四月からH.P.で本校の教育を英語と中国語で世界に紹介することになりました。次は、そのH.P.での校長先生の挨拶です。

「この世界には様々な歴史や文化を持ち、様々な価値観を持って生活している人たちがいます。中にはまだその違いや対立を収めることができずに戦いが続いている国や地域もあります。それら多様な人々と私たちは、お互いの類似したところや違っているところを知り、認め合い、意見を戦わせ、どうやれば、お互いが協力し合つて、将来の素晴らしい世界を築いて行くのかを考え、また共に協力して行動に移して行かなければなりません。私たちの学校は、このような考えを基盤にして学び、活動しています。そして誰でもかけがえない存在であることを自覚しながら学ぶ学校です。」卒業生の皆さん、三年間学んだ九里の教育を大切にしてください。

「時には選択モード切替」

教頭 井澤 治



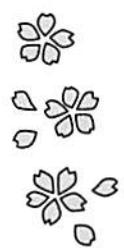
九里での三年間を振り返ってみる時、一番鮮明に思い出されるのはどのようなシーンでしょうか？「嬉しく楽しい思い出の方も、苦しくつらい思い出の方も、より記憶に残る」と語られることもあり、みなさんの多くもそんな思いを持たれているのではないのでしょうか。おそらくこれからの人生でもこのことはあまり変わらないかもしれません。慌ただしい時間の中で自分を見失ってしまうこともあるかもしれません。

そのような時には「物事の見方を変えてみる」「自分を俯瞰（調べてね）してみる」ことで少し楽になることがあります。目の前のたった一人の人に否定されただけで落ち込んだりするのには、あなたがそれまで乗り越えてきた長い年月から見れば大した出来事ではないと……

ご活躍をお祈りします！



ご卒業おめでとう



充実した一年一年を

PTA会長 加藤 淳一



三年生の皆さん、
ご卒業おめでとう
ございます。

んは高校生活の三年間で多くの
経験積み重ねたことで心も身
体も大きくなり、そして、これ
から進む道でも新たな出会いと
経験でさらに大きく成長する事
でしょう。しかし、今後歳を取
ると一年一年が早くなり、毎年
が同じ平凡な日々の繰り返しで、
成長を感じられないと思う事も
あるかもしれません。今までは
やらなければいけない場を与え
られ行動する事が多かったと思
いますが、これからは自分で探
し考え挑戦することが大事です。
一年間で成長出来る時間は限ら
れますので、充実した一年を送
り良い歳を重ねて欲しいと思
います。ご指導いただいた方々
に対する感謝の気持ちを忘れるこ
となく、新たな出会いを求め日々
挑戦してください。今後皆さん
の九里学園の卒業生として輝か
しい活躍を期待します。

前へ

第三学年部長 高橋 和浩



三年生の皆さん、
ご卒業おめでとう
ございます。

て何より、それぞれの進路に向
かって羽ばたいていく皆さんの
姿が誇らしく、本当に嬉しい気
持ちでいっぱいです。
皆さんの未来は、まだ真白で
す。これからは自分自身で自分
を磨き、様々な色に輝いていっ
て下さい。心より応援していま
す。十年後、二十年後：それぞれ
の場所で、どんな色に輝いてい
るのか！皆さんの活躍を、楽し
みにしています。
自分を信じて、
一步一步、前へ前へと進め！！

Good Luck

第二学年部長 高梨 進



卒業生の皆さん、
ご卒業誠に
おめでとうございます。

皆さんは、遅かれ早かれ社会
に出なければなりません。そし
て様々な人との出会いがあり、
たくさんの喜びや悲しみ、悩み
苦しみを経験することでしょう。
人と共に生きるということ
は、他人を大切に、他人の人
格を尊重し、周りの人のために
自分で何が出来るかを考えるこ
と。そして、少しでも他人に喜
んでもらえることを数多く行う
ことです。それで信頼される人
になり、自ずと道は開けます。
皆さん、九里学園の校是でも
ある「礼」と「譲」の精神を忘
れないで、自分を信じて悔いの
ない素晴らしい人生を歩んでく
ださい。
グッドラック！

贈る言葉

第一学年部長 中村 浩



卒業生の皆さん、
ご卒業おめでとう
ございます。

九里学園での三年間で心身共
に大きく鍛えられたと思います。
そして春からはそれぞれの道に
進んでいく事になります。しか
し、その道は自分自身で切り開
いていくしかありません。
ここまで育ててくれた親に感
謝、たくさん事を教わった先生
に感謝、共に学んだ仲間へ感謝
関係してくれた全ての人々に感
謝の気持ちを持って下さい。そ
してもう一つ、常に謙虚さを持
つて人に接して下さい。

これから進む道では楽しい事
もありますが、つらく苦しい事
の方が多いと思います。そんな
時、感謝の心と謙虚な気持ちが
あれば、必ず誰かが手を差し伸
べてくれ、力になってくれます。
前途ある卒業生の未来が輝か
しい事を祈念して、贈る言葉と
します。

「頑張れ、九里学園 卒業生」



学年スローガン 5つのP

- ・ 九里生としての誇り (Pride)
- ・ 約束 (Promise) を果たし信頼される人
- ・ 生きる力 (Power) を身に付ける
- ・ 何事も前向き積極的 (Positive) に考える
- ・ 譲の精神を自分なりに果たせる人 (People)

三年間を大切な宝物に

第三学年主任 熊澤 広二



ご卒業おめでとうございます。皆さんの高校生活は、どのような三年間でしたか。

今、この三年間を大切な宝物として

心に刻める人ばかりではないと思います。後悔が先に立つ人、満足感や達成感の想いが浮かばずに卒業を迎える人もいるのかも知れません。私も卒業時の気持ちには後者でした。高校での目標を達成できず卒業後の期待や自信より、不安が勝っていたと記憶します。ところが、卒業後に自分と向き合わなければならぬ様々な場面において、高校時代の体験がこれほどまでに大切だったことを、私は何度も思い知らされました。失敗した事も夢叶わなかった事も大切な自分の宝物であること。卒業の時間が遠ざかる過去になればなる程、このことを強く感じました。

教師である私にとっても、皆さんと過ごした三年間の日々は大きな宝物です。満足も後悔も、達成感も挫折感も財産として自分だけの宝物として、これから大きく成長されることを期待しています。皆さんなら、これから自分で決めた道に一生懸命取り組んでくれると信じます。

卒業にあたり、これまで皆さんの高校生活を支えてくれた家族や仲間への感謝の気持ちを伝えて下さい。また、学年スローガンだった5つのP、九里生としての誇り (Pride) を忘れず、約束 (Promise) を果たし信頼される人、生きる力 (Power) を身に付けて、何事も前向き積極的 (Positive) に考え、譲の精神を自分なりに果たせる人 (People) をめざして下さい。今後の卒業生の活躍を祈念しています。

「信愛」

第三学年副主任 高橋 元樹



信じる事は簡単な事
疑うよりも気持ちがいい
ね♪ (GreenE)「遙か」
より)

副主任というよりも進学指導主任として、特に出願書類の最終点検をしました。そこで強く感じたことは、ミスがあるのではないかと疑って点検することの辛さです。

「信」じあい「愛」する心を大切に
して幸せになつて下さい。

卒業に向けて

第三学年付主任 豊嶋 達也



三年男子「現代文」の試験監督時のこと。最後の問題は、亡くなって行く母のことを詠んだ茂吉の歌から一首選んで鑑賞文を書くものだった。教室が真剣で深い空気に包まれた。家族との絆の尊さ、深さを感じた。どうぞこれからの人生の中で、育てて下さった家族への御恩を忘れずに歩んで行って下さい。

1組

大人になれた？



担任

小山田 努

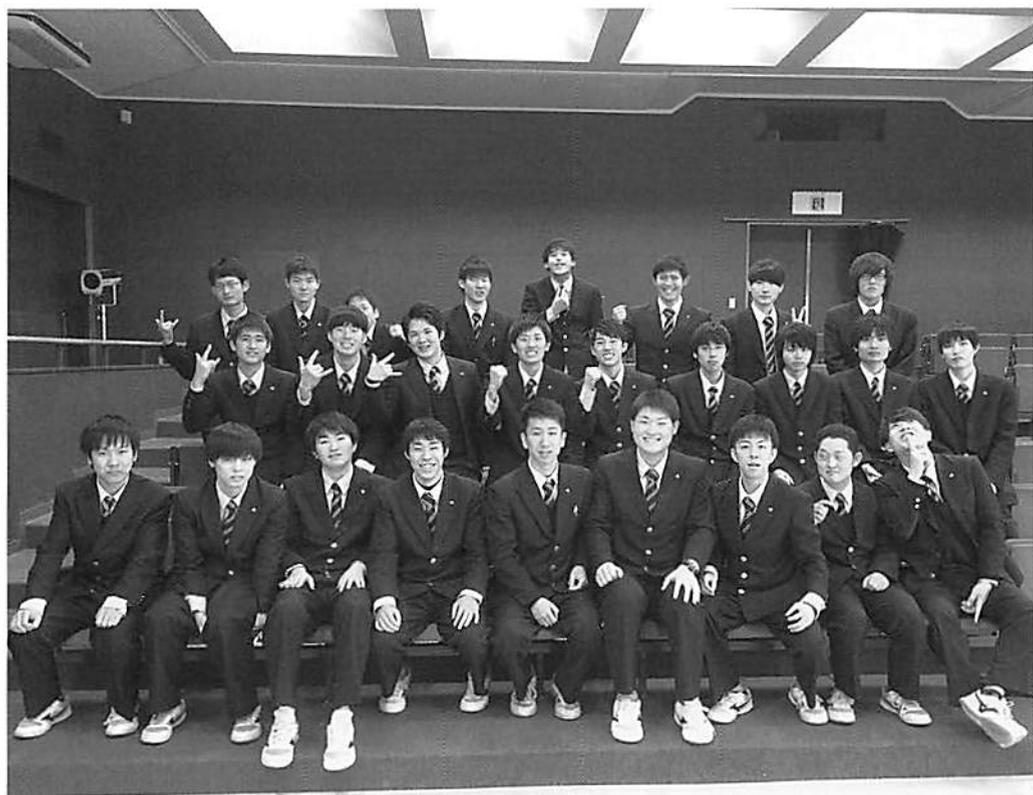
三年生になって初めてのホームルームで私は君たちにこんなことを言いました。

「大きな子供じゃなく、小さな大人になろう」

日本では二十歳が成人ですが、大人として扱われるのは十八歳からだと言ってもいいと思います。君たちはその年齢になりました。

どうですか？大人になれましたか？

ところで大人ってなんだっと思って人もいるでしょう。それは君たちがこれから経験することです。楽しんでください!!



最初で最後の九里祭

三年一組 鈴木 駿佑

私の三年間の思い出は九里祭です。私は野球部だったので最初で最後の九里祭でした。ダンスの練習を放課後にしていて、本番でもキレイキレイのダンスができたのでよかったです。一生の思い出です。

部活の思い出

三年一組 齋藤 貴也

三年間の思い出と言えば、私は野球をしていたので野球漬けの毎日でした。入学当初はただひたすら練習するだけでした。その練習は毎日遅くまであり辛い日々でした。ですが野球の練習、野球で学んだことは私の一生の宝物になりました。

卒業おめでとう


 担任
佐藤源太郎

この歌を知っていますか?『生きる事が つらいとか苦しいだとか いう前に野に育つ花ならば 力の限り生きてやれ』

誰にだってつらいことはあります。今までは違った生活を始めるのに、楽なことなんてありません。しかし、一人ひとりが選んだ道です。それに向かって突き進んで下さい。怒られない事だけが正しい訳ではありません。失敗してもいい。そこから何かを学べるのなら。楽しむことも大事ですが、周りを見ることのできる人になって下さい。どんなことも乗り越えて行ける。そんな大人になってほしいと心から願っています。これからの人生に幸あれ。がんばれ卒業生!!



三年間の思い出

三年二組 北山 智大

高校三年間を振り返って、クラスマッチと体育祭が印象に残っています。クラスマッチではバスケットボール、ソフトボールなどがあり全員で一致団結し全力で戦い優勝しました。

体育祭では、応援賞など獲得し総合優勝でクラスマッチとの二冠を達成しましたが、百人一首は三位となり三冠はできませんでしたが、クラスでのいい思い出となりました。

三年間を振り返って

三年二組 折笠 武斗

私は部活も私生活も中途半端でした。夢であった甲子園へ出れず悔しさが残りました。しかしクラスの仲間と本気で行事に取り組むことができ多くの思い出が出来ました。別々の道を歩むのが悲しく思える程最高の仲間に出会える事のできた最高の高校生活でした。

3組

卒業おめでとう。

担任
山本さくら

皆さんは私の教員人生における最初の卒業生ということになりますね。温かく笑顔が絶えない学年の先生方と、元気で優しい生徒達に囲まれて、本当に幸せな三年間を過ごすことができました。お礼と激励の気持ちを込めて、三組の生徒をはじめ、これから新たなステージへと駆け上がっていく皆さんに、私が大切にしている言葉を贈ります。「向上心と感謝の気持ち」です。自分がやりたい事には、必ず挑戦してください。たとえ失敗したとしても、その経験があなたをより深みのある魅力的な人間にしてくれれます。また、皆さんの周囲には応援してくれる方々がたくさんいます。「自分が好き」と自信を持って言える人生を歩んでください。



支えになるもの

三年三組 田 雨冉

私の高校三年間は、みんなに支えられたものでした。転学生として、九里学園に入学して最初に全校生の前で片言の日本語で自己紹介をしたことが思い出されます。期待と不安がありました。自分が皆より一つ年上であることを包み隠さず話したこと、自然と友達との輪も広がりました。挨拶や声をかけてくれて、こういつた何気ない会話が自分を元気づけてくれましたし、何よりも嬉しいことでした。

またこの三年間を通して、素敵な思い出が星のように数え切れないほどあります。その中で学んだこともありました。それは「チャレンジする心」。失敗を恐れずに物事に取り組めたことが一番大きいと思います。大学受験に一度失敗してしまいましたが、先生の助けと友人に励ましてもらい、立ち直って、困難を乗り越えることができました。

楽しいこともあり、辛いこともありましたが、九里でのすべての出会いが心の宝物になりました。

高校三年間の思い出

三年三組 渡部 花菜

高校三年間本当にあつという間に過ぎていきました。私が心に残っている行事は実行委員長を務めた九里祭です。実行委員長として全校生をまとめる大変さとそれを成功させた達成感はこのうえない幸せを感じました。高校生三年間でたくさんの人と出会えた事は一生の財産となりました。



担任
樋渡 理志

いよいよ四月から仕事や学校など始まりますね。

選んだ道なので、希望に満ちていることと思います。でも楽しいことばかりでなく辛いこともあるかもしれません。初めはわからないことが多く大変だと思います。そんな時、一人で抱え込まないこと。周囲の人に聞くことが大切です。勇気を出して自分から話しかけること。

そして、笑顔です。笑顔が大切。笑顔は相手の気持ちをやわらげてくれ、周囲の人が話しやすくなります。うまくいかないことがあってもイライラしても、周囲には関係ないので。嫌なことがあっても目の前の相手には笑顔で接しましょう。

忙しくても、毎日自分でチェックして下さい。今日、「笑ってますか？」って。

さあ夢に向かって第一歩です。これからの生活を思いっきり突っ走ってください。

いつまでも応援しています。卒業おめでとう。



三年間の想い出

三年四組 大竹夏菜子

私にとって三年間の想い出といっても、大きなイベントには正直ありません。でも、学園祭当日までの準備や、莉奈と私の歌の練習とか、そういつた期間が楽しかった。そして何より、昼休みに莉奈とひわちゃんの研究室に行ったり三人でお昼食べて世間話をして、そういつたこととしたことが私にとっていちばん楽しくて思い出のこつてる。ひわちゃんとは三年間一緒に、担任としてと迷惑かけて、自分は全然問題ばかり起して迷惑かけて、自分は全然い生徒じゃなかったのに、でもどんな時も最後まで見放さずについてくれた、そんなひわちゃんには感謝してもきれいなほどありがとうございます。就職内定ももらえたのもひわちゃんのおかげです。就職内定ももらえたのもひわちゃんとの先生の方、親友、そして家族、たくさんの人に支えられてきたからだと確信しています。これから立派な社会人になって思返しをしたいと思います。いまでもありがとうございます。

三年間で得たもの

三年四組 山口 琉奈

私は研修旅行で東京に行ったのが特に印象に残っています。私は元々芸術に興味がありいろんな美術館に行ったり音楽や演劇に触れるのが全て新鮮でもっとも楽しかった。また、私は特に芸術に興味があり、いろんな有名な画家を見て技法などとても勉強になりました。色彩がとても豊かな絵が飾られていてとても新鮮でした。

音楽や演劇は近くで見ることができプロのすごさを感じ、心から感動するような演劇や音楽が芸術に興味を持つことができたのは、美術部の仲間との活動を通していろんな作品に触れることができたからです。美術部で得た経験や知識は今後私が生活していくうえでとても大きなものになると思います。このような素晴らしい時間を過ごせた、九里学園高校での三年間は、これからの私の大きな宝物になっていくと思います。

5組

自分らしく



担任
吉田貴美子

卒業おめでとう。私は君たちの担任になりもの凄く楽しい人生を送ることができた。なぜなら、私は「自分らしく」君たちと過ごす中で「心から感じたこと」や「しみじみと心を動かされたこと」が沢山あるからです。たくさんさんの思い出と感動をありがとう。

君たちは「自分を誤魔化さない」でいろいろな経験を積みながら、心の底から感じたことや心を動かされたことを大切にして、その意味をよく考えて人生を歩んでもらいたい。「自分らしく」そして「今」に感謝することを忘れずに。



やるときは全力で

やる三の五

三年五組 情野 結衣

三年五組は、文武両道の精神で「やる時はやる」を全力でやるクラスでした。だから部活動も全力、進路実現も全力で何をするにも全員で心をひとつに頑張れた一年でした。卒業しても「やる時はやる!!」で頑張ります。

行事が絆を深め

三年五組 斎藤 美波

私の一番の思い出はいろんな行事です。クラス全員で協力し団結できたからです。行事で皆と団結できたからこそ今の三年五組があるのだと思います。この行事を通して人として成長できました。三年間楽しかったです。

6組

卒業おめでとう

ようございます。



担任
鈴木 精

三学年で急に担任が代わり、心底不安を感じた一年だったのではないのでしょうか。それでも健太先生の教えを守りつつ、君達は柔軟に僕を受け入れ、適応してくれました。そして、君達と行事や授業、SGH、進路指導と一緒に時を刻み、歩を進めることができたことを心から幸せに感じています。この出会いに感謝、そして、君達の優しさと適応力に感動しています。僕は君達には本当に豊かな人生を歩んでほしいと思っています。また、君達はそれを可能にするだけのものを十分に備えていると信じています。いつも些末なことにも誠実に丁寧に対応してくれること。色んなことに前向きにチャレンジしようとする姿勢。様々な活動で培った探究心。何より素直で人の気持ちを大切にできる優しさ。自分を決して見失わず、道を切り開き、人生を歩んで下さい。僕は君達が君達である以上、いつも応援しています。



三年間の思い出

三年六組 三浦 花凜

私の高校生活で一番思い出に残っているのは、ハワイ研修です。ハワイでは、日本とは違う景色や文化に触れ、英語で話す事で自分に自信を持てた経験でした。色んな事に挑戦し、経験できた三年間でした。

絆

三年六組 高橋いぶき

私にとってブログレスコースで過ごした日々は全て大切な思い出です。受験に向かう中で衝突等もありましたが、みんなで支え合って励まし合い乗り越えられました。これからは、個々の進路で精一杯頑張っていくたいです。

顧問からのメッセージ

人格を身に付ける生き方を

硬式野球部顧問 高橋左和明

三年生諸君、卒業おめでとう。
振り返ってみると、君たちには技術指導より、むしろ心の成長のための話が多かったのではないだろうか。野球は人間がすることを前提に、人格を磨くことが成長の近道ということをよく話していた記憶があります。決して人様に迷惑をかけることなく、人様に喜んでいただけるような人になってほしいと思います。それぞれの道での活躍を期待します。

心の成長

陸上部顧問 原田 隆弘

卒業おめでとう。君たちが歩んだ三年間は、普通の高校生と少し違った三年間だったのでないでしょうか。三年目に地元山形インターハイが開催されるという期待とプレッシャーの中の活動だったと思います。

競技力向上はもちろんの事、生きる力を付ける為に人間性の向上を目指し指導してきたつもりです。そしてこれから先も更に自身の向上を目指して成長して行って下さい。やればできる！

有終の美

水泳部顧問 片平 淳

結果を残すことよりも最後までやり抜く精神、自分の進んできた道が正しかったと信じる心、これまで支えてきて下さった方々に感謝すること、水泳を通じてこれらを学ぶことが出来たと思います。それらは着実に後輩たちにも伝わっているはずですよ。これから先は、自らの判断で責任をもった行動をしていかなければなりません。さらに成長した自分探しの旅への門出を祝福いたします。

現実を見ながら夢を語れ

男子バスケットボール部顧問 富樫 宏之

いつの年でもそうだが、いい思いをしている君たちの顔よりも、大粒の汗を流し、歯ぐき食いしばって、必死にボールを追いかけている君たちの顔のほうがよく覚えている。

社会の現実を見ながら夢を語り、純粹なまま汚れた世の中でたくましく生きる。弱さを知ったまま強くなれ。冷たさを持ったまま優しくなれ。あの日追いかけたルーズボールを忘れるな。いつの日かまた体育館で会おう。

スマイル九里！

女子バスケットボール部顧問 鈴木 幸英

今年の子女子バスケット部は、まさに「スマイル九里」がピタタリのチームだったと思う。どんなに苦しくても、辛く

てもスマイル。笑顔の絶えないチームだったと思う。そしてその笑顔の中に、強い信念を持ち続け、最後まであきらめないプレーで戦い続け、先輩方が築いてきた伝統をしっかり受けつづける事が出来た。まさに執念で……。

最後まで粘り強く取り組んだ三年生。これからの人生にたくさんの幸せがある事を祈っています。

卒業おめでとう！

卒業おめでとう

ソフトボール部顧問 小山田 努
桑原 裕貴

ソフトボールは外で行う競技です。寒いときもあれば暑いときもあり、晴れているときもあれば雨のときもあります。これからもそうだと思います。自然環境に順応してこれからの人生を過ごしてください。また、ソフトボールは最低でも九人いないと試合に出ることはできません。一人だけでできるスポーツが多くなっていますが、人とかかわることの大事さや難しさを体験してきたと思います。その経験も今後に生かしてください。卒業おめでとう！！

人を大切に

バレーボール部顧問 松岡 大地

卒業おめでとうございます。バレーボールを通して学んだことを活かして、これからの人生を元気に過ごしてください。バレーボールは一人では決してできないスポーツです。それを長年やってき

た君たちは、これから社会に必要な力を十分に身につけました。社会もバレーボールと同様、一人ではなにも成し得ません。出会う人を大切に、これからの人生を楽しく生きてください。期待しています。

「感謝と実践」

バドミントン部顧問 高木ユキキ

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。バドミントン部では、社会に出て可愛いがられる人になるように育てています。可愛がられる人とは、挨拶のできる人、自分の役割を果たせる人、失敗してもそこから学んでいける人です。私たちが顧問はもちろん、皆川コーチ、手塚さん始め、我が部を応援してください。皆様がそう育ててくださいました。その事に感謝して、部で学んだ社会で可愛がられる人として、それを実践し、幸せに生きて欲しいです。

卒業おめでとう！

卓球部顧問 鈴木 淳

星君、西田君、江本君、卒業おめでとう。君たちは、私が部活動の顧問として初めて三年間通って指導した生徒です。指導したと言えようなことは出来なかったかも知れませんが……。最後の県大会、あと一歩で東北大会の切符を逃してしまいました。その悔しさは私も忘れられませんが、悔しさで涙が出るくらい一杯戦っていた君たちを誇りに思います。またいつでも小体に来て下さい。

卒業生へ

テニス部顧問 我妻 孝浩

三年生四名、卒業おめでとう！最初は三人からのスタートで、少ないメンバーの中で練習メニューを工夫し、協力しながら頑張ってきました。大変だったと思います。少しずつメンバーも増え、女子部員も入部し後輩の指導にも力を入れました。この先、さらに高いハードルを乗り越えなくてはならない場面が出てきます。君たちならできるはず。今後の活躍期待しています。

卒業おめでとう。

サッカー部顧問 鈴木 精

結局三年間勝たせてやることができず、申し訳なかつた。それでも個々を見ると、それぞれが良いものを持った、良い選手になったと思う。練習量や厳しさは他のチームと比べてもひけをとらないどころか、むしろきつかったと思う。それに耐えて努力を重ねてきたことに、そして、最後、羽黒相手に素晴らしい試合をして、一点を取ってくれたことに、胸を張って誇りに思っていると思う。これからは同じプレーヤーとして、一緒にボールを蹴っていたと思う。いい人生を歩んでくれることを心から願う。

これからのスタート

剣道部顧問 星野 剛博

卒業おめでとうございます。三年間少ない人数の中よく頑張ってくれたと思います。この三年間様々な大変なことがあったと思います。その一つ一つが皆さんのこれからの人生に役立つことが来ると信じています。自分らしく、自分を信じてこれからも頑張ってください。

卒業おめでとう。

弓道部顧問 山本さくら

「誰からも応援される魅力的な人になろう」それが我が弓道部のスローガンです。三年間、私たちは常に「勝ち方」にこだわってきましたね。「なぜか応援したくなる」「このチームが勝つなら文句はない」人々は努力するあなたの姿に心を動かされるのです。人生は長く、これから何度も勝負の場面がやってきます。私はあなた達のファンとして心から活躍を期待しています。

最初のペンギン

ダンス部顧問 佐藤 涼子

二人の代は、入学時新入部員0でしたが、後輩たちと一緒に等身大の作品を多く残せたことが、本当に素晴らしいことだったと思います。特に、二人の面倒見の良さや優しさに、みんな助けられました。神戸大会での作品のテーマはそのまま人生のテーマです。これからも苦しい時、つらい時、思い出してください。「たとえ未来がまだ見えなくても、わたしたちは、自分を信じて飛びこむしかないのだ！」

続けるという大切さ

書道部顧問 佐藤 涼子

書道部の皆さん、卒業おめでとうございます。この三年間、きちんと最後まで活動を続けたことは、本当に素晴らしいことです。三人とも愛先生や嶋貫先生のサポートで、地道に練習を重ね、いくつも外部賞を受賞しました。自分の置かれた状況の中でできることをやり、成果を出せたことを社会に出ても忘れずにいてください。

卒業おめでとう

美術部顧問 樋渡 理志

制作を楽しみ、仲間との時間を楽しみ、活動に励んだ三年間。それぞれが楽しみながらも目標に向って活動に励んできました。ポスター最優秀賞や県高美展奨励賞の受賞は本人の力はもちろんですが、部員全員の活動があったからこそ成し得たことです。

これからも芸術を愛する気持ちを忘れず、いつも家には描きかけの絵があるような生活にしてください。忙しい毎日の中でも、芸術はきつと心のオアシスになってくれるはずですよ。卒業おめでとう

卒業おめでとう

吹奏楽部顧問 佐藤 真帆

三年生の皆さん、卒業おめでとう。今年度は少人数ではありましたが、野球応援や九里祭での演奏に一生懸命取り組んでくれましたね。部員数もぐっと少なくなってしまい、残念ながらコンクールには出場できませんでしたが、そもそも毎日の活動を行うこと自体にとっても苦労したと思います。

新しい環境での発見や学び、そして喜びを大切にしながら自分らしく歩んでいってください。

誰かの役に立つ人

JRC部顧問 川合 真澄

「ボランティア」とは、無償の奉仕活動という意味です。JRC部のみならずは、誰かに指示されたわけでもなく、自分の意志で誰かの役に立つ活動を行ってきました。高校を卒業して、働き始める人もいるでしょう。「働く」とは「人のために動く」こと。JRC部の活動を糧にし、誰かのために「働く」、魅力的な大人になってくれることを願っています。

人生の友達

文芸部顧問 上村 英俊

部活は高校まで、なんて割り切ったことを言う人もいますが、創作の楽しさは、卒業したからって終わるものではありません。だって、自分の心の世界が言葉になるからです。子育てしながら子守歌のようにお話ししてあげたり、折々の季節の中で短歌や俳句にしてみたり、好きな人に詩を作ってもらってプレゼントしたりね。文芸の楽しみはこれから始まる。豊かな人生の友になりますよ。きつと。

心を色と形にする活動

イラストアニメ愛好会顧問 上村 英俊

三年間で、皆とても進化して、画力も上がったと思うけど、一番上がったのは、オリジナルの世界を作る力です。アニメが好きとか、イラストが好きとかいうのはみんな自分の世界を表現したい気持ちの表れ。画家になるのはハードル高くて、今、伝えたいことを色と形で表現できる。とてもすてきな創作活動です。これが仕事だったら辛いかもしれないけど、趣味で続けるのは楽しいこと。本当の部活は卒業後なのかもしれません。

「どこかへやってみよう！」

生活科学部顧問 高橋 二元樹

生活科学部の合言葉です。P.D.C.Aサイクルを意識し、常にチャレンジ精神を大切に、体験し、失敗から学ぶことで、一人ひとりが成長していく部活動を目指しています。詳しくは、「九里学園の教育」四十六号をご覧ください。九里学園生活科学部の卒業生として誇りを持ち、人間生活が大きく変化していく未来に「人間として幸せに生きる」ためにどうすればよいかを考え、挑戦し続けていってください。

ジャーナリストであれ

新聞部顧問 上村 英俊

卒業おめでとう。新聞づくりを通して、ジャーナリズムの精神を身につけて欲しかったのです。皆の知らないことや知りたいことを調べて発表するだけでは、ただのマスコミ。だから、その報道が「フェイク」と言われたり、「行き過ぎ」と批判されることが、ありました。それをすることが誰の幸せになるのか。よい社会を作るための報道がジャーナリズムの精神にあると思います。これからの人生に生かしてくださいね。

卒業おめでとう

図書司書 遠藤千沙子

卒業生のみなさん、そして図書委員の皆さん、ご卒業おめでとうございました。三年間図書委員だった人もいれば、一時だけ図書委員だった人もいます。が、年間を通して様々な活動がある図書委員会。楽しかったこと、大変だったことなど多くの思い出があります。みなさんの様々な面に触れることもできました。これからも様々なことを経験することと思いますが、楽しみながら人生を送ってほしいです。卒業おめでとう！

おめでとう！

養護教諭 後藤 璃帆

ご卒業おめでとうございます。皆さんが入学したころを思い出すと、心も身体もたくましく成長したなと感じます。この三年間はたくさん経験し、多くの人に支えられたのではないのでしょうか。今ある出会いや縁に感謝し、新たな素敵な出会いを楽しんでください。また、自分と他人とのかわり合いの中で、学び合いながらこれからも大きく成長してほしいです。皆さんを応援しています。

Congratulations on graduating Kunori Gakuen Senior High School
Global Education Manager Shane Shinkins
(シエーン・シンギンズ)

It was my pleasure to get to know you all and have the chance to teach many of you English over the last 3 years. I have watched you all grow and mature into responsible adults. After Kunori Gakuen some of you will go to university or junior college while others will start to work, but whatever your next step is remember you are the person who is in charge of your destiny. The decisions and actions you make every day determine your future. I wish you all the best of luck in your journey of life.

平成二十九年 第三学年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

特別教育活動〈功績賞〉

陸上競技部
齋藤 諒(平1) 佐藤 駿(太1)

特別教育活動〈功労賞〉

陸上競技部
小貫 夢海(3) 高橋 桃子(3)
和地 彩花(3) 開沼 美帆(5)
唐澤 翔太郎(6)

特別教育活動〈優秀賞〉

陸上競技部
曾我 憲伸(1) 高橋 洋輝(1)
高橋 佑弥(1) 田中 悠也(2)
渡部 祐一郎(2) 情野 結衣(5)
外山 幾恵(5) 尾 箸亮(太6)
蜂屋 真子(6) 三浦 花凜(6)

水泳部 黒田 侑花(3)
女子バスケツトボール部

伊藤 琴音(3) 伊藤 樹里(3)
猪野 真未(3) 河井 愛莉(3)
鈴木 茜音(3) 萩生田 真央(3)
鈴木 優花(4) 長谷部 真奈(4)
山口 彩香(4) 須藤 葵(5)
田村 想実(5) 鈴木 暢恵(6)
東端 あつさ(6)

卓球部

西田 純樹(1) 星 遥介(2)

バドミントン部

菅原 未有(3) 渡部 花菜(3)
松田 萌(5)

新聞部

高橋 雅(6)

文芸部

鈴木 佑嘉子(4)

美術部

佐藤 夏美(4)

生徒会執行委員

西田 純樹(1) 三塚 大翔(1)
鈴木 駿佑(1) 渡部 翔(1)
小西 優作(2) 伊藤 琴音(3)
佐藤 愛留(3) 江口 侑希(4)
斎藤 美波(5) 鈴木 暢恵(6)
菅野 月南(6) 高橋 雅(6)
保健厚生委員会 後藤 里奈(5)
図書委員会 佐藤 夏美(4)

特別教育活動〈努力賞〉

陸上競技部

黒宮 巳賀(3)

硬式野球部

齋藤 貴也(1)

サッカー部

長谷川 怜央(1)

男子バスケツトボール部

関 蓮(1) 齋藤 諒(1)

女子バスケツトボール部

早坂 洗斗(1) 須貝 雄飛(2)

テニス部

塚田 瑞希(2) 森下 翔太(2)

バドミントン部

佐藤 隼人(2) 鈴木 慎畝(5)

バドミントン部

伊藤 匠吾(2) 高橋 圭介(2)

ソフトボール部

佐藤 愛留(3) 神藤 夢香(4)

バレーボール部

江口 侑希(5) 斎藤 美波(5)

弓道部

高橋 みなみ(3) 志田 かな(3)

剣道部

鈴木 幸斗(1) 井上 大輔(1)

吹奏楽部

遠藤 未来(3) 藤岡 笑顔(4)

渡部 香乃(5)

剣道部

渡部 稀子(5)

梅津 彩未(5) 遠藤 里奈(5)

◆ダンス部

阿部 愛未(5) 樋口 明日香(5)

◆書道部

大平 玲菜(4) 近野 由季(4)

遠藤 望咲(5)

◆美術部

高橋 飛翔(2) 松田 純(2)

田 雨冉(3) 久野 穂月(4)

山口 琉奈(4)

◆文芸部

赤木 美香(3) 鈴木 愛美(4)

加藤 七望(4)

◆イラストアニメ部

赤木 美香(3) 加藤 七望(4)

鈴木 愛美(4) 鈴木 佑嘉子(4)

◆茶道部

渡部 茉衣(6)

◆生活科学部

植木 信也(2)

◆JRC部

井上 美優(4)



三年間皆勤賞(2/16現在)

- 鈴木幸斗(1) 小貫夢海(3)
- 鈴木愛美(4) 梅津彩未(5)
- 田村想実(5) 蜂屋真子(6)

一年間皆勤賞(2/16現在)

- 佐藤駿太(1) 本田瑞希(1)
- 神保斗真(2) 松田純(2)
- 森下翔太(2) 遠藤未来(3)
- 萩生田真央(3) 大平玲菜(4)
- 山口彩香(4) 後藤里奈(5)
- 情野結衣(5) 渡部香乃(5)

一年間精勤賞(2/16現在)

- 鈴木駿佑(1) 高橋洋輝(1)
- 西田純樹(1) 吉田光佑(1)
- 安部光起(2) 伊藤匠吾(2)
- 清野涼(2) 赤木美香(3)
- 江口重弥(3) 河井愛莉(3)
- 遠藤未咲(4) 加藤七望(4)
- 鈴木優花(4) 鈴木佑嘉子(4)
- 斎藤美波(5) 渡部茉衣(6)

学習活動優秀賞

- 鈴木駿佑(1) 関蓮(1)
- 高橋洋輝(1) 高橋祐裕(1)
- 西田純樹(1) 伊藤匠吾(2)
- 植木信也(2) 神保斗真(2)

読書感想文優秀賞

- 清野涼(2) 塚田瑞希(2)
- 森下翔太(2) 赤木美香(3)
- 飯澤沙紀(3) 伊藤樹里(3)
- 小貫夢海(3) 黒田侑花(3)
- 高橋瑞穂(3) 和地彩花(3)
- 井上美優(4) 遠藤未咲(4)
- 大平玲菜(4) 佐藤夏美(4)
- 鈴木愛美(4) 鈴木優花(4)
- 鈴木佑嘉子(4) 開沼美帆(5)
- 斎藤美波(5) 須藤葵(5)
- 情野結衣(5) 外山幾恵(5)
- 田村想実(5) 遠藤菜穂(6)
- 国分ちづる(6) 菅野月南(6)
- 鈴木暢恵(6) 高橋雅(6)
- 東端あづさ(6) 三浦花凜(6)
- 渡部茉衣(6)

読書感想文優秀賞

- 軌跡の夢ノートを読んで
- 星やどりの声
- 私にできること
- 伊藤樹里(3)
- 遠藤菜穂(6)
- 高橋雅(6)

読書感想文優秀賞

- 八月の博物館を読んで
- 永遠の花火
- 佐藤夏美(4)
- 外山幾恵(5)

平成二十九年 進路状況について

進路指導課長 遠藤 英

今年度の進路希望は、就職希望者が約四割、大学・短大進学者希望者が三割強、専修学校進学者希望者が二割強です。数年来、就職希望者が四割を超えるようになり、大学・短大進学者希望者の割合も徐々に増えており、専修学校希望者が減少傾向にあります。県外就職希望者が多いのは、本校の特色です。優良大手企業からいただく求人が多いことと、職種優先で受験企業を選択する取り組みの結果と考えられます。

進路全体を概観して言えることは、少子化に伴う深刻な人手不足・学生不足です。就職者の求人は年々急増しており、企業にとって人手不足は悲鳴に近い印象です。アベノミクス等による仕事量の増加に加え、多くの企業が戦後(復興後)約六〇年、石油危機後三〇年強の経営の節目を迎えており、次の世代を担う人材確保を必要としているようです。そのためか、就職合格ラインは比較的高めの印象です。

◆H29年度卒業生の進路別状況◆ 平成30年2月13日現在

	就職希望者			進学希望者				未定その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	24	7	31	16	0	13	29	9	69
女子	18	11	29	16	15	22	53	3	85
合計	42	18	60	32	15	35	82	12	154

◆就職関係(内定状況 公務員を除く)◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校推薦	学校推薦以外	緑故	他	学校推薦	学校推薦以外	緑故	他	学校推薦	学校推薦以外	緑故	他
男子	20	20	3	3	6	6	1	1	26	26	4	4
女子	185	24	1	1	11	11	1	1	36	35	2	2
合計	43	41	1	1	20	20	1	1	63	61	2	2
内定率%	100%				100%				100%			

※公務員は当初希望男子3名 採用内定県内1名(67%)

◆進学関係(合格状況)◆

	大学		短大		専修各種		合計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	16	9	0	0	13	11	29	20
女子	16	16	15	15	22	22	53	53
合計	32	25	15	15	35	33	82	73
合格率%	78%		100%		94%		89%	

しかし一方で、生徒の生育環境の中で直接的・間接的に体験できる職業は減少しており、生徒の志望が特定の分野に偏る傾向があります。また、様々なことに幅広く挑戦してこなかったケースもあって、関心・意欲を持って進路の選択幅が非常に少ない生徒もいます。消極的な(消去法・受け身・とりあえず等)進路実現は、早期離職や安易な挫折の要因と考えられています。二〇二〇年後に経済状況が厳しくなると言われている現在、社会の中で生きる手応えを得られるまで、粘り強く頑張ってもらいたいと思います。

逆に、「地元志向」傾向が弱まる中で、強く志望を自覚し挑戦する生徒も増加傾向にあります。「安定」を期待できない現代、自分の未来像に向かって邁進してほしいと思います。

We are Family!!



編集後記

今年はず雪だったことに加え、市外在住の委員ばかりで、広報委員会への参加は本当に大変でした。それでも、わが子の卒業の饗となる最後の号の編集に携わることができてとても嬉しく思います。

お忙しい中ご寄稿いただいた先生方やPTA役員の皆様にご心より感謝申し上げます。

そして三年生のみんなへ、卒業おめでとう。

★この「学園通信(卒業号)」は、
三年生広報委員が担当しました。

広報委員長 鈴木由美子(四組 優花)
委員 高橋 久子(二組 洋輝)
委員 松田 高志(二組 純)
委員 山本みゆき(三組 詩奈)
委員 梅津 国昭(五組 彩未)
委員 鈴木 幸子(六組 暢恵)

(編集 理志 小山田 葵 豊野 剛博)